



# 2019年12月期 中間決算説明資料

2019年8月8日

株式会社ツバキ・ナカシマ

(東証一部 6464)



## 目次

1. 2019年12月期 上期実績 ..... P 2

### 「一球一心」



一つの球に一つの誠心、愛情をこめて鋼球を作り上げること。

### 「一精一誠」



誠は真心であり、精は精密・精神を意味する。仕事に真心を打ち込んで、魂のこもった精密で優れた製品を作り上げること。



# 1. 2019年12月期 上期実績

## 業績トピックス

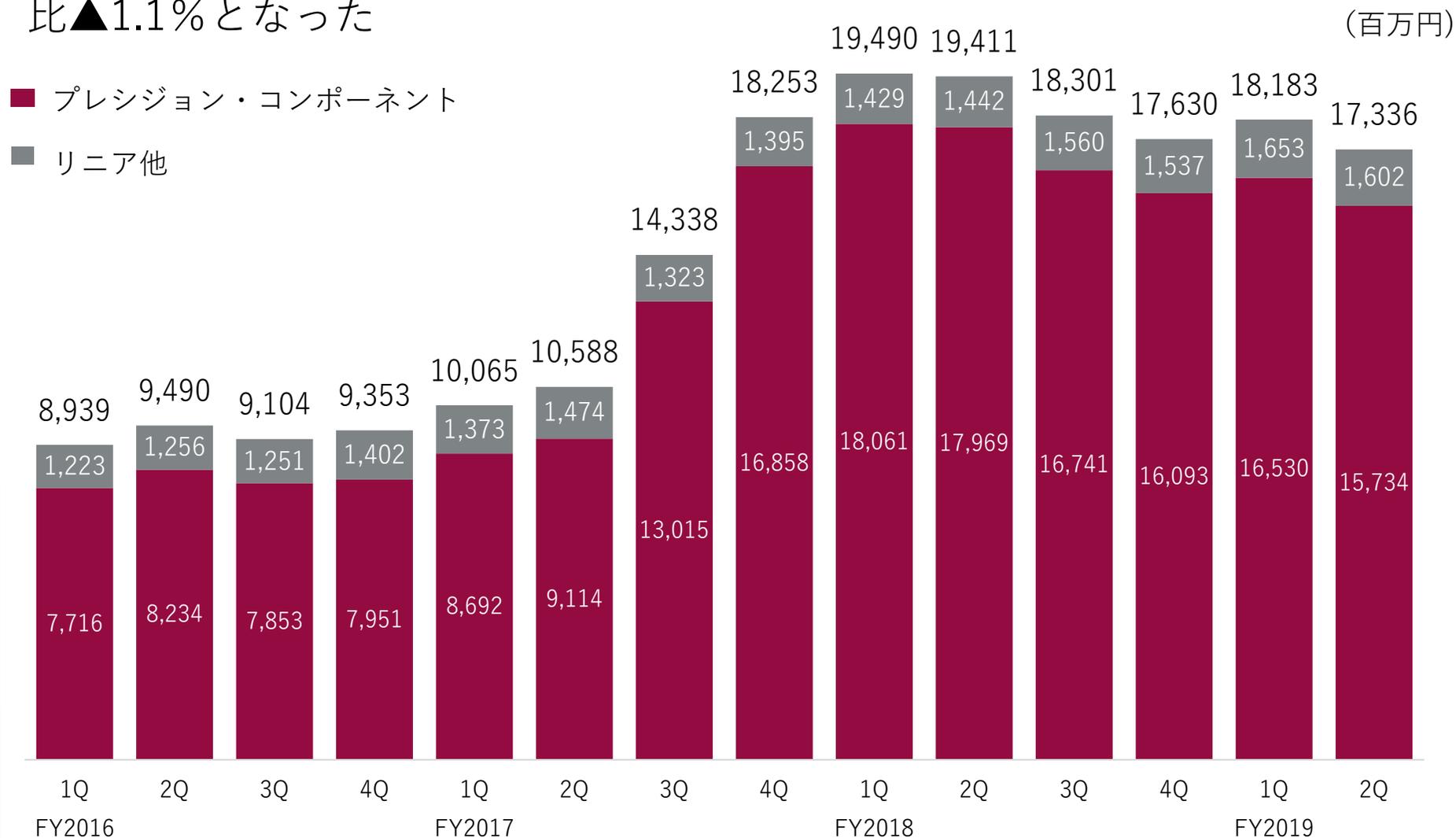


- グローバル経済悪化により2019年上期のマクロ経済は弱含みで推移したが、販売努力により連結売上収益は2018年下期比▲1.1%の355億円となった
- 営業利益はシナジー効果の発現・コスト改善活動の推進により2018年下期比▲2.3%の44億円となった
- 2019年下期のマクロ経済も不透明感が継続すると思われるが、企業努力を継続し年間配当81円/株、中間配当40円/株は維持する



# 四半期 連結売上収益推移

グローバル経済環境の悪化影響を受けたが、上期売上収益は2018年下期比▲1.1%となった



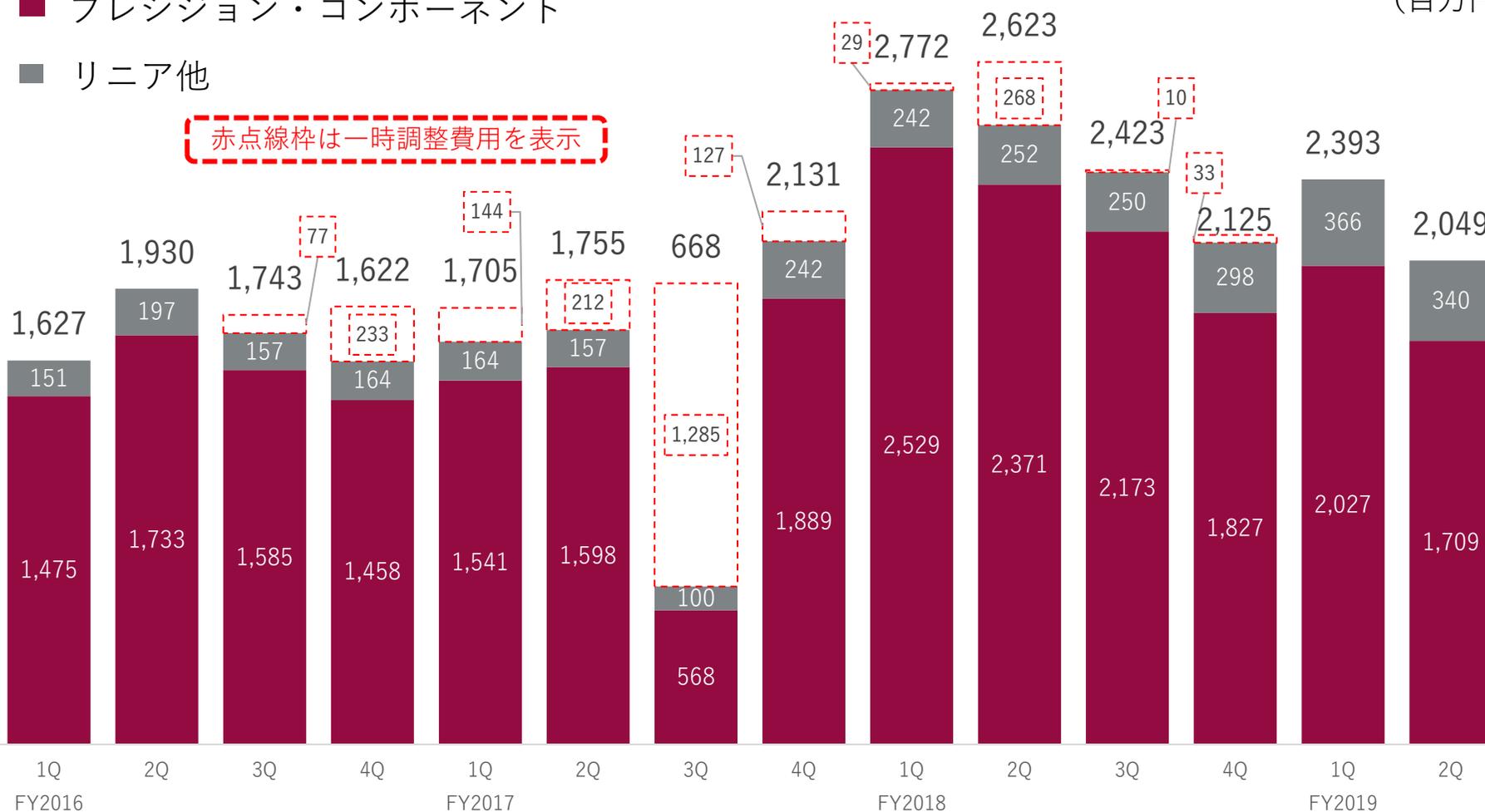


# 四半期 連結営業利益推移

上期営業利益については、シナジー効果及びコスト改善により2018年下期比▲2.3%となった

- プレシジョン・コンポーネント
- リニア他

(百万円)



# FY2019 上期連結業績

## 2018年下期比



マクロ経済の悪影響は継続したが2018年下期に対し連結売上収益は▲1.1%、営業利益は▲2.3%となった

(百万円)

	2018 下期	2019 上期		
	実績	実績	増減額	増減比
売上収益	35,931	35,519	▲412	▲1.1%
営業利益	4,548	4,442	▲106	▲2.3%
対売上収益(%)	12.7%	12.5%	—	—
EBITDA	6,090	6,148	57	0.9%
税前利益	3,984	3,936	▲48	▲1.2%
当期利益 <sup>(※1)</sup>	3,306	2,868	▲438	▲13.2%

(※1) “当期利益”は、“親会社の所有者に帰属する当期利益”を記載しております。

# FY2019 上期セグメント・地域別売上収益

## 2018年下期比



プレジジョン・コンポーネントセグメントは2018年下期比▲1.7%となったが、リニア他セグメントは+5.1%となった

(百万円)

	FY2018 下期	FY2019 上期		
	実績	実績	増減額	増減比
グループ連結	35,931	35,519	▲412	▲1.1%
プレジジョン・コンポーネントセグメント	32,834	32,264	▲570	▲1.7%
日本	6,611	6,014	▲596	▲9.0%
北米	7,394	7,313	▲81	▲1.1%
欧州	12,174	12,545	371	3.0%
アジア	6,655	6,392	▲263	▲3.9%
リニア他セグメント	3,097	3,255	158	5.1%

プレジジョン・コンポーネントセグメントは産業用精密ボール、精密ローラー、精密スタンピング部品等のセグメントです。

# FY2019 上期連結業績

## 2018年上期比



(百万円)

	2018 上期	2019 上期			
	実績	実績	為替影響	増減額 (※2)	増減比 (※2)
売上	38,901	35,519	▲1,110	▲2,272	▲5.8%
営業利益	5,394	4,442	▲116	▲836	▲15.5%
対売上(%)	13.9%	12.5%	—	—	—
EBITDA	7,131	6,148	▲176	▲807	▲11.3%
税前利益	4,840	3,936	▲114	▲790	▲16.3%
当期利益(※1)	3,513	2,868	▲45	▲600	▲17.1%

(※1) “当期利益”は、“親会社の所有者に帰属する当期利益”を記載しております。

(※2) “増減額”及び“増減比”は為替影響を除いております。

# FY2019 上期セグメント・地域別売上 2018年上期比



(百万円)

	FY2018 上期	FY2019 上期			
	実績	実績	為替影響	増減額 (※1)	増減比 (※1)
グループ連結	38,901	35,519	▲1,110	▲2,272	▲5.8%
プレジジョン・コン ポーネントセグメント	36,030	32,264	▲1,090	▲2,676	▲7.4%
日本	6,778	6,014	—	▲764	▲11.3%
北米	7,662	7,313	91	▲440	▲5.8%
欧州	14,617	12,545	▲836	▲1,236	▲8.4%
アジア	6,973	6,392	▲345	▲236	▲3.4%
リニア他セグメント	2,871	3,255	▲20	404	14.1%

プレジジョン・コンポーネントセグメントは産業用精密ボール、精密ローラー、精密スタンピング部品等のセグメントです。  
(※1) “増減額”及び“増減比”は為替影響を除いております。

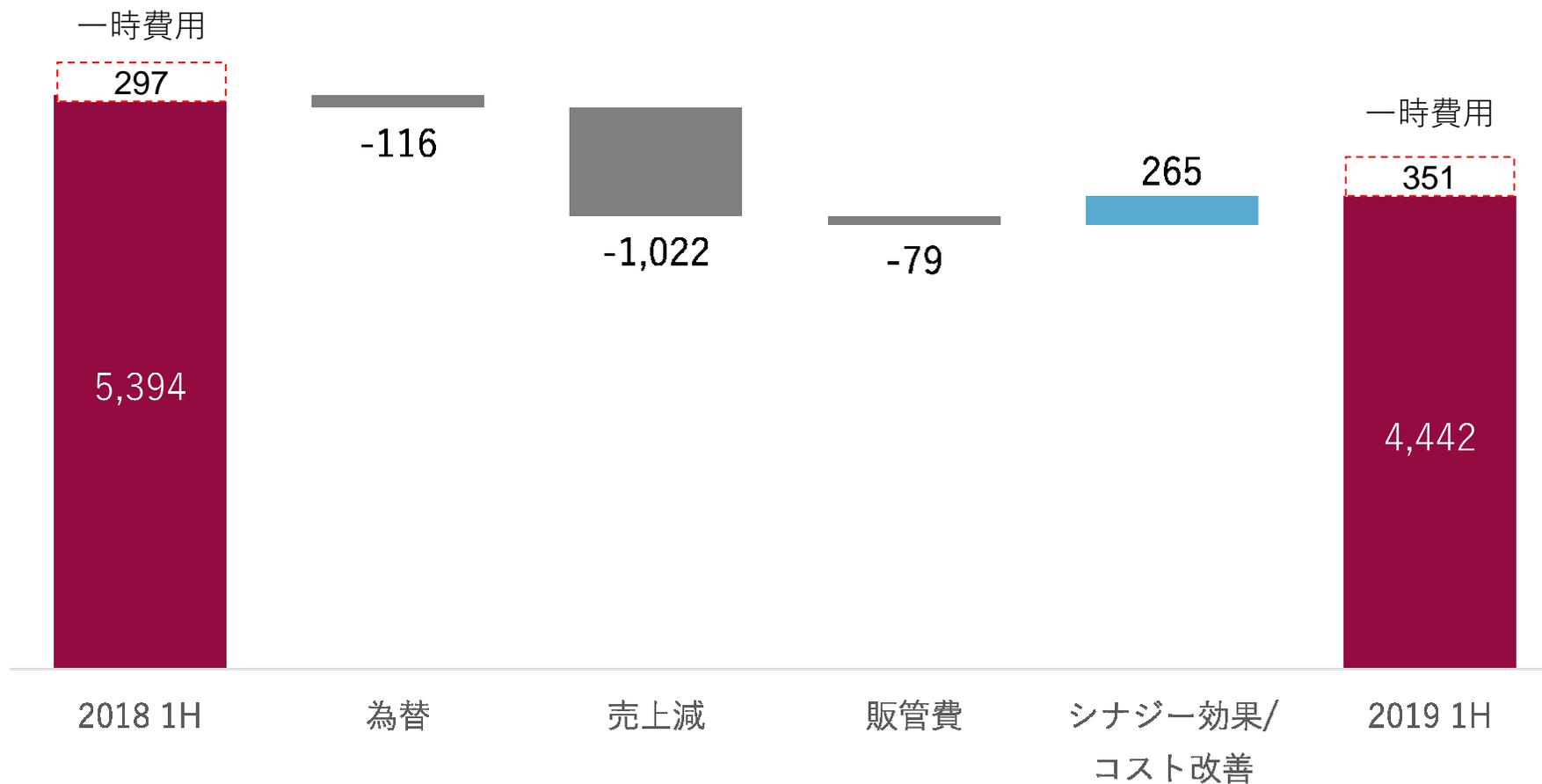
# FY2019 上期営業利益 増減要因

## 2018年上期比



意欲的なシナジー実現活動が奏功し営業利益に寄与した

(百万円)

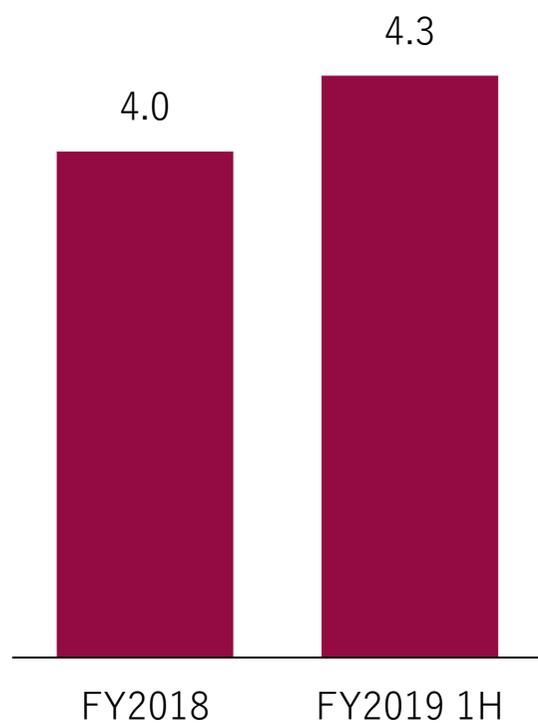




# BS/CFにおける業績

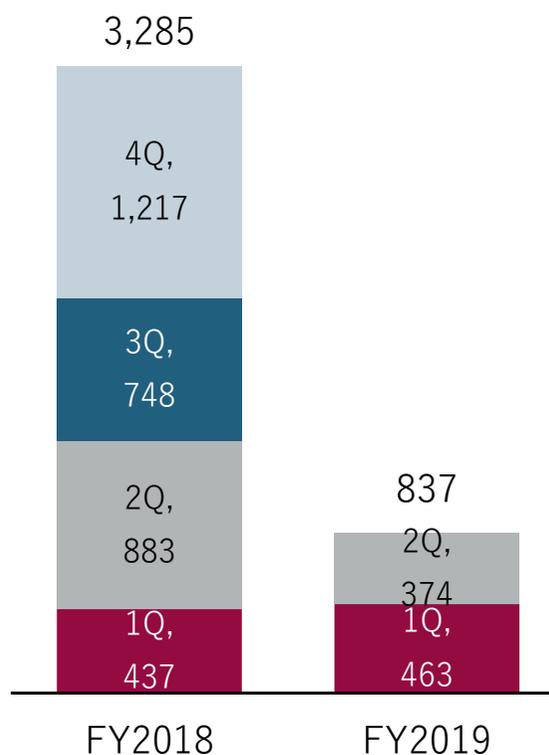
### 棚卸資産回転月数(月)

継続的な在庫削減活動を推進し棚卸資産回転月数の改善を図る



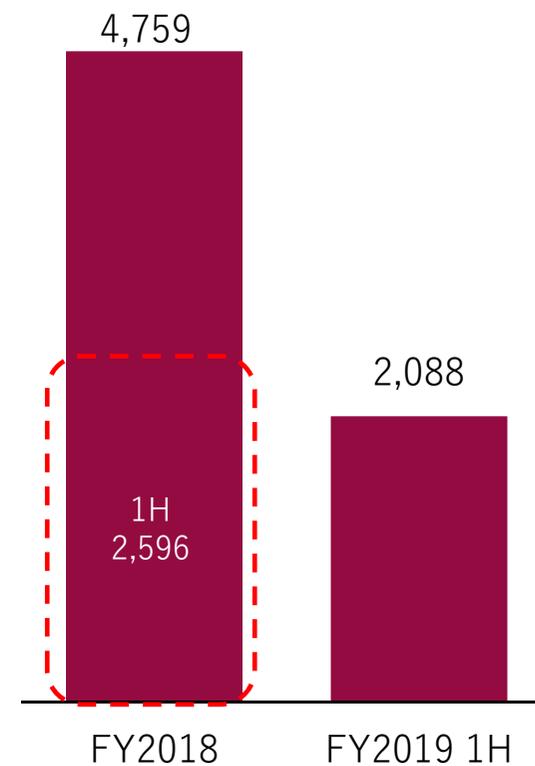
### 設備投資額(百万円)

- ・米、中にてIT投資を実施
- ・設備投資の優先度管理を徹底する



### フリーキャッシュフロー(百万円)

キャッシュマネジメントの強化を推進し安定的FCFの維持を図る



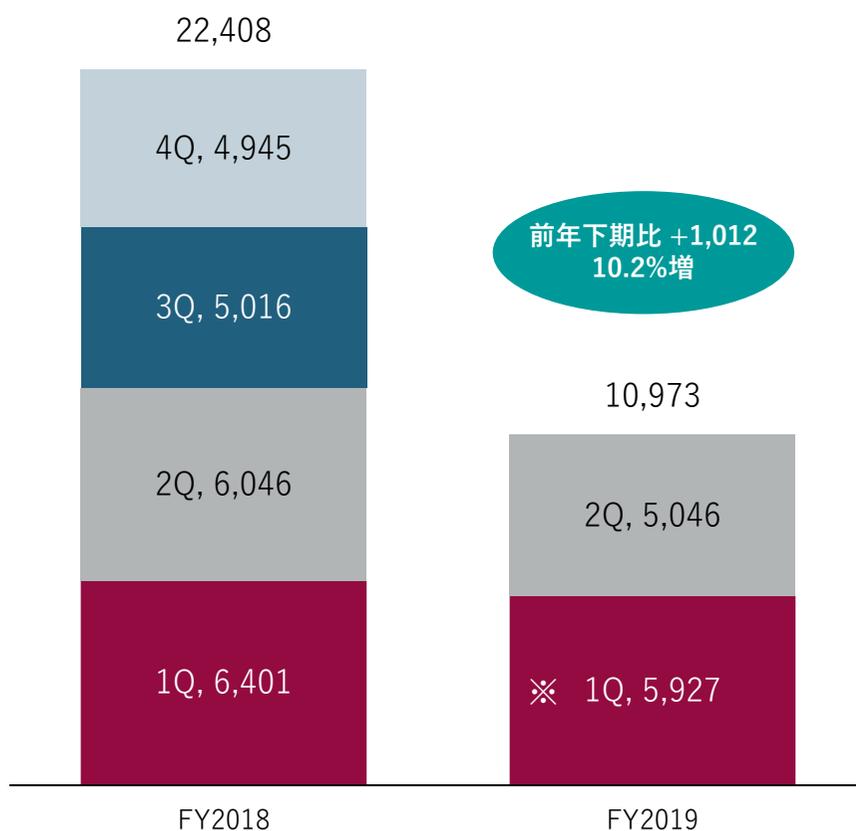


# FY2019 上期 販売戦略進捗

“海外のお客様”向け販売が対2018年下期比+10.2%となった

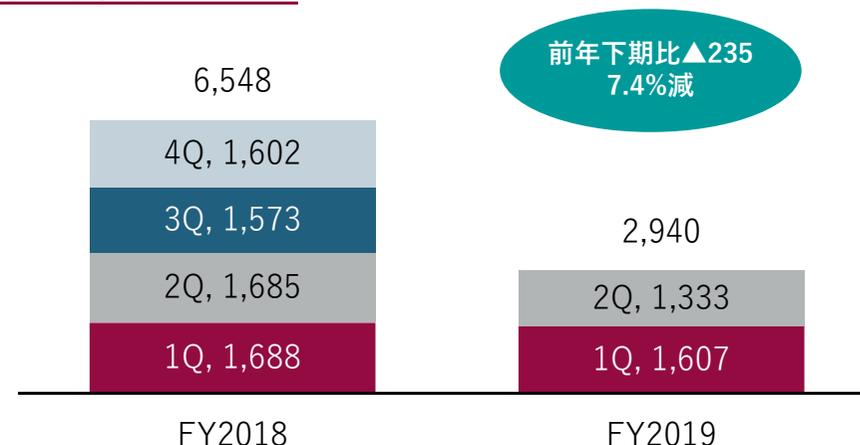
(百万円)

## 海外のお客様

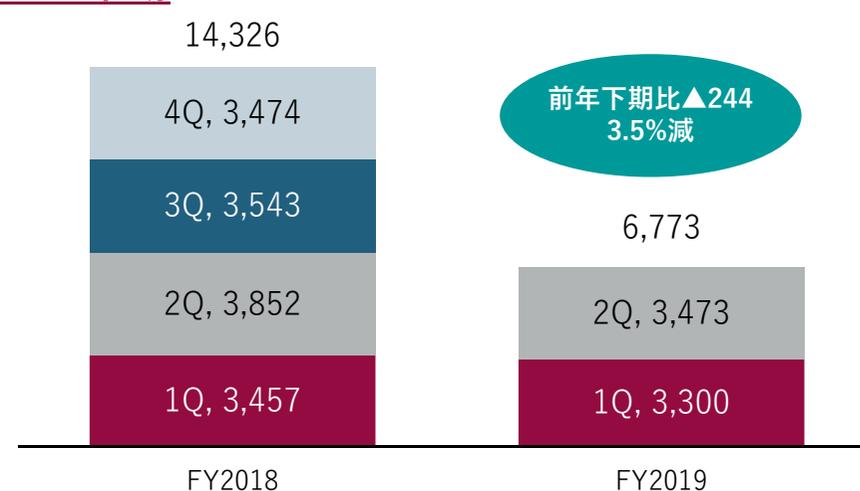


※2019年1Q集計値修正のため遡及して修正しております。  
(誤：5,652百万円⇒正：5,927百万円)

## セラミックボール



## アジア市場





## 免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。